

伝統と革新が生み出す高度な鑄造技術 世界が注目する自動バリ取り機

1945年創業、自動車および建設機械用部品等に用いられる鑄造品の製造を手掛ける社は、大手メーカーとの取引を主に行っている。特に大型で複雑な中子を使用する高性能鑄造部品の製造に強みを持ち、その分野においては確固たる受注基盤を築いている。2010年には自社で開発した工作機械（バリンダー）の製造、販売を目的としたKoyama Barinder (Thailand) Co., Ltd.を、2014年には鑄造品の製造、販売を目的としたKoyama Casting(Thailand) Co., Ltd.をタイに設立するなど海外展開も積極的に進めてきた。

所在地 長野県長野市川中島町原1111
電話/FAX 026-292-2700/026-295-2252
URL <https://www.koyama-nagano.co.jp/>
代表者 代表取締役社長 小山 隆宏

設立 1946年
資本金 9,800万円
従業員数 625人



伝統のノウハウと最新技術を融合させた高度な提案力

鑄造の専門メーカーの社は、創業以来蓄積してきたノウハウ、研究成果、先進の技術を駆使しながら顧客と課題を共有し、新しい形状や機能の創出に積極的に取り組んできた。鑄造だけでなく鑄造品の機械加工も備えた社の一貫生産体制によって高い完成度と迅速な対応を可能としながら顧客の生産合理化を支援している。また、3Dプリンターによる新形状の試作、3DCADに基づくシミュレーションなどの提案も行いながら試作品製造に要する時間や、コストの大幅な軽減にも寄与している。



生産ラインの様子

自社の苦勞の積み重ねから生まれた、世界基準の「バリンダー」

「バリ取り」は、鑄造製品の品質や精度を決める重要な工程であるが、労力を要す大変な作業であると同時に、職人の勤に頼る部分が大きかった。この工程を自動化するべく、当社では1972年に省力化マシン「バリンダー」の原型となる自動バリ取り機の開発に成功。NC加工技術を組み込み、2種類の刃物を同時に稼働しながら精密で高速なバリ取りを実現する「バリンダー」は業界に新風を巻き起こし、コヤマが世界から注目されるきっかけとなった。以来、自社ブランドの開発製品として販売を行い、世界の顧客に愛用されている。



世界基準となった「バリンダー」

高い技術力の源となる、優秀な人材を育成するための各種支援制度

当社では、入社後1ヶ月間の新人研修や従業員の資格取得支援を行っており、社員の意欲向上やスキルアップを支援している。また、コヤマに入社を希望する学生を対象としたインターンシップを随時行いながら就職前段階から当社へと関心を持ってもらうなど優秀な人材登用の施策を積極的に打ち出してきた。さらに、各部署へ配属後は、数ヶ月に1度講習会や展示会に参加するなど継続的に勉強や情報収集を行える場を与えながら社員が継続的に学べる仕組みを構築している。



鑄造加工に取り組むインターン生